

市を越えた交流で、活動の壁を超える。

団体名

①活動頻度、②活動場所、③活動内容、④担当者及び連絡先

音訳グループ花だいこん

①2~3回/月、②社会福祉協議会、③1月の勉強会のほか、広報や社協だよりの音訳、④沖昌子 (☎042-424-2310)

点訳グループてんとう虫

①1回/週、②福祉の里、③毎週木曜日の点訳作業のほか、点字教室のアシスタント等、④庭田京子 (☎090-7235-6003)

難聴・中途失聴者 大空の会

①1~2回/月、②野火止公民館、③手話学習や交流、情報交換等の社会貢献活動、④山田浩二 (☎042-473-3723)

南のぴんキラ☆倶楽部

①1回/週、②堀ノ内集会所、③65歳以上の方を対象に体操や脳トレを実施、④鈴木登茂子 (☎042-479-4587)

絵本の会「四季」

①第1土曜・第2金曜、②中央図書館・東北コミュニティセンター、③勉強会及びお話し会を実施、④洞口文子 (☎048-474-8557)

にいがまめの会

①1回/月、②中央図書館、③お楽しみ会やお話し会での読み聞かせなど、④芦川敏子 (☎048-478-8435)

有償のボランティア

有償でボランティアをしてみませんか。

地域支え合いボランティア

新座市社会福祉協議会では、支援を必要とする高齢者などのちょっとした困り事をお手伝いする会員制事業を実施しています。協力会員には、1時間当たり600円相当のATOM通貨を謝礼としてお渡しします。利用会員・協力会員ともに募集中です。応募資格や活動内容など、詳しくは新座市社会福祉協議会にお問い合わせください。

☎ 048-480-5705 (新座市社会福祉協議会)

のびっ子おはなし隊

①②ふるさと新座館→1回/週、東北コミュニティセンター、児童デイサービスどれみ→各1回/月、③読み聞かせ、④寺田宏江 (☎048-483-0335)

ぼけっと

①3~6回/月、②東北コミュニティセンター・東北小・新開小、③勉強会及び読み聞かせ、④木村範夫 (☎048-478-6649)

読み聞かせグループ たんぼほの会

①1~2回/月、②新座団地図書室、③読み聞かせのほか、子ども会等への行事への協力、④志村静江 (☎048-481-4677)

北一の絆 楽しく、ささえて会

①②活動内容ごとに異なる、③折り紙隊、フードパントリーサービス、子どもひろばなど、④岩崎隆 (☎090-2350-6062)

アブラメ坂緑地保全の会

①2~4回/週、②栄一丁目保全緑地、③緑地の保全と植栽の管理、写真掲示・勉強会、④石山努 (☎048-479-7459)

川爺

①1回/月、②西分集会所周辺の野火止用水、③用水内外の清掃や水質・水生生物調査、④永瀬蔵 (☎090-2476-7097)

妙音沢緑地ガイド倶楽部

①1回/月、②妙音沢周辺、③環境保全活動(植物の観察や枯枝、枯葉の除去)、④斎藤教男 (☎080-2030-9151)

おはよう太極拳の会

①②上東公園→毎週日曜、東三丁目集会所→隔週第2・4水曜、新座団地分譲集会所→毎週木曜、③太極拳による健康増進、④岩崎隆 (☎090-2350-6062)

桑の実公園体操会

①毎日(雨天除く)、②道場二丁目(仮称)道場公園予定地、③ラジオ体操、中国体操など、④安部剛 (☎048-482-8447)

新座日本語の会

①2回/週、②東北コミュニティセンター、③日本語学習を希望する外国人を対象に日本語を教える、④木原毅 (☎048-478-9096)

二胡の会

①2回/月、②野火止公民館、③中国楽器の「二胡」のグループ練習、市内イベント参加、④加藤美恵 (☎048-479-4579)

人形劇 あおむし

①2回/月、②野火止公民館、③公民館で研修を行い、保育園・老人施設などで講演、④村上京子 (☎048-478-0120)

※市や児童センターが所管するボランティア団体の情報については、市ホームページをご確認ください。



◀「にいがさの地域活動だより」バックナンバーはこちら

万が一に備えて。

新座市市民公益活動補償制度

ボランティアを始め公益的な市民活動を行っている皆さんが安心して活動できるように、無料で補償を受けられる制度をご用意しています。登録の条件など、詳しくは市ホームページ又は地域活動推進課にお問い合わせください。

☎ 048-477-1583 (地域活動推進課)

にいがさの地域活動だより

発行月 令和6年3月
発行者 新座市(地域活動推進課)
〒352-8623
新座市野火止一丁目1番1号
問合せ 048-477-1583

特設記事
市民活動団体交流会

初めて開催した朝霞地区4市のボランティア団体による交流会。各団体が描く未来を教えてくださいました。



市を越えて、身近な人のために。
4市合同で団体交流会を行いました。



それぞれの未来のために、みんなで考える。

令和5年11月24日（金）、朝霞市・志木市・和光市・新座市の4市合同で初の取組となる「市民活動団体交流会」が開催され、会場となる朝霞市民会館の会議室には、活動市も活動内容も異なる12の市民団体が集まりました。各市からボランティア団体やNPO団体が参加する中、新座市からは「ぼけっと」、「北一の絆・楽しく、ささえて会」及び「桑の実公園体操会」の3団体が参加しました。新型コロナウイルス感染症が活動に与えた影響、そして、5類への見直しにより見え始めた活動再開の兆し。交流会では、市域や分野を越えて、それぞれが体験した苦労や今後の展望など、熱心な意見交換が行われました。

コロナ禍で、参加者だけでなく活動場所も減っていく中、どのように活動を継続していたか、という話し合いにおいては、コロナ禍にあってもなんとか月に1回程度少人数で集まって活動したり、オンライン環境を整備し、今までとは違う形で活動を行ったりするなど、それぞれの団体が変化に対応し、活動を絶やさないための努力を続けていました。オンライン環境整備の一環としてSNSを導入することで、家にいながら情報を発信し、また、参加者や関係者との相互のやり取りを容易にするなど、デジタルを活用した周知活動もコロナ禍によって注目された手法であり、各団体がそれぞれにチャレンジしていました。

みんなとつながり、次につなげる。

コロナ禍を越え、我々の生活様式が少なからず変わりました。日常生活を取り戻しつつあってなお、コロナ禍で生じた課題は残り続けています。高齢化という問題にも直面しており、山積する課題の中、団体がそれぞれの視点で意見を交わし、解決策を模索していました。当然、全てが今日明日で解決する問題ではありませんが、このような交流が刺激となり、各団体の活動が昨日より一歩前進できる、そのように感じられる会となりました。

後日、こんな声を頂きました。「交流会で知り合った団体さんと市を越えて協力してボランティアを行った、他市さんで事業をやるのは今回が初めて。」交流を通じて活動の幅が広がるなど、早くもよい成果が出始めているようです。今ある活動だけではなく、時代に合わせて活動を変えたり、時には第三者から刺激を受ける機会をつくったりするなど、様々な角度から活動を見直すことで、活動継続のヒントが見つかるかもしれません。



左上/各団体で今回のテーマについて意見交換を行っている。左中央・下中央/参加者の意見をテーマに分けて、グループとしての意見にまとめていく。右上/まとめた意見を、各グループ1人が代表して発表を行っている。左下・右下/意見交換会后、職員からPRについてのミニ講座を実施。

Information

新座市ふるさとハローワーク

新座市役所本庁舎3階にあり、求人検索機から埼玉県を始め全国の最新求人情報を、簡単に検索・閲覧することができます。

◎ 開庁日の午前10時～午後5時
☎ 048-477-1859



新座市シルバー人材センター

高齢者の能力を生かした社会参加を目指し、活力ある地域社会づくりに貢献しています。要件を満たした方ならどなたでも入会できます。

市内在住の60歳以上の方
☎ 048-481-4305



▲説明会日程や入会方法など、詳しくはこちら



新座市社会福祉協議会

ボランティアセンター

ボランティアに関する相談や団体への支援を行っているほか、ボランティア募集掲示板を設けています。募集情報がありましたら、情報提供にご協力ください。

☎ 048-480-5705/FAX:048-481-3488



生涯学習ボランティアバンク

様々な知識や経験を地域に還元したいという方が指導者又は協力者として登録しています。これから活動に取り組む方に、お手伝いできるボランティアをご紹介します。

☎ 048-477-1498（生涯学習スポーツ課）



▲登録者（団体）など、詳しくはこちら